

2月9日(日)

芝山の笑いここにあり 「新春寄席」

芝山文化センターにおいて開催された「新春寄席」。今年も豪華出演者として、落語家の「林家木久扇」さんや「月亭方正」さんなど、総勢5人の方が芝山町にやってきました。舞台が幕を開けると、次々と繰り広げられる落語家ならではの軽快な語り口と絶妙な間や、その世界観に引き込まれる話の内容によって会場中が笑いに包まれ、なかなか生で見ることのできない太神楽の妙技の一挙手一投足にもたくさんの感嘆の声があがりました。

来場した子どもから大人までの幅広い年代の方たちは、プロの技術による伝統芸能にすっかり魅了され、その楽しさを存分に感じる1日となりました。



▲会場を盛り上げた5人の出演者



このコーナーでは、町で行われたイベントなどを紹介します。



2月22日(土)

全カプレーで真剣勝負 「記念サッカー大会」



①



②



③

①②懸命にプレーする選手たち ③開会式の様子

芝山町スポーツ広場において開催された「成田スカイパークイン芝山記念サッカー大会」。本大会は、主催者である（一社）みどりと空のプロジェクト（以下、「主催者」）が、今後展開していく農泊推進事業の中で、農泊体験者用の宿舎などとして整備した施設「成田スカイパークイン芝山」のオープン予定を記念して開催されました。

大会には、芝山JFCを含む近隣市町から全6チームの小学生サッカーチームが参加し、全カプレーで熱戦を繰り広げました。地元チームとして出場した芝山JFCは、予選リーグを1勝1敗で迎えた順位決定戦で惜しくも敗退し4位という結果でしたが、記念大会において躍動する姿を見せました。

大会を見届けた主催者代表の山浦理事長からは「今後、成田スカイパークイン芝山の施設を合宿所などに活用していただき、地域のコミュニティにしていただければ嬉しく思う」と話されていました。

2月27日(木)

桜が咲きますように 「植樹祭」

芝山公園において行われた「第1回桜フェス2019の植樹祭」。今回の植樹祭の背景として、テングス病で枯れた芝山公園の桜を復活するべく芝山町観光協会の有志の方などで桜フェス実行委員会（以下、「実行委員会」）が結成され、桜の復活のための活動とともに地域の活性化を目的として、昨年の7月に芝山仁王尊の屋外特設ステージで桜フェス（音楽フェス）が開催されました。

今回、それらの活動で集まった「桜募金」をもとに25本の桜の苗木が植樹されることとなり、主な品種は「大漁桜」で芝山公園の土壌や自然環境でも3～5年で花が咲く見込みとされ、2月下旬～3月上旬が開花時期とされています。

主催者である実行委員会江原代表も「きれいな桜が咲くことで、将来的に芝山公園にたくさんの人が集まり、地域の中でも活気あふれる場所にできれば」と話されていました。



①植樹される様子②竹炭サークルかぐや姫の皆さんにより制作された記念樹ボード③会場で振る舞われた「桜茶」

しばやま 日より 和

3月18日(水)

新たに踏み出す一歩

「みつば幼稚園修了証書授与式」

みつば幼稚園において行われた「修了証書授与式」。3年間の集団生活を通して立派に成長した38名の園児たちが見せるしっかりとした姿勢や行動などに、今までその成長を見届けてきた先生や保護者の方たちもいろいろな思いや感情がこみ上げ、万感の思いでいっぱいになりました。

また、新たな一歩を踏み出す園児たちに対して、園長先生から「何事にも工夫ができる人になってほしい、そして、いろいろなことに対してありがたいの気持ちを持ってほしい」という二つの言葉が贈られると、園児たちは力強くうなずき、それに答えるかのように大きな声で返事をしていました。



①みんなで記念撮影 ②修了証書授与 ③式を彩る花々 ④大きな声で歌いました